

平成12年度 愛育委員

- 1組 濃野 喜久子 6組 光延 美代子
- 2 和氣 昭子(支部長) 7 林 郁久子
- 3 和氣 彩奏子 8 井上 由紀子
- 4 上中田 哲子 9 大平 八重子
- 5 吉崎 一二恵

平成12年度 子ども会及び育成会役員

子ども会育成会 会長 今井 卓己

本年度育成会会長を和氣芳夫さんより引き継ぎ、務めさせて頂くことになりました。町内の皆様方には、平素より子ども会育成会行事に対し、多大なご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

子ども達が田中野田子ども会でよかったと思える1年にしたいと、関係者一同努力してゆきたいと思っておりますので、今後ともご支援の程よろしくお願いたします。本年度の役員をお知らせします。

子ども会 会長 松村 遼

副会長 今井 竜一 上中田 望 横田 知佳

運営委員 早田 貴明 吉田 麻穂 鬼塚 祐己 藤原 翔
種本 風 脇坂 ちひろ 西野 純 原 智也
花原 健 小原 智子 小松 祐太郎 高橋 美保

育成会 会長 今井 卓己

副会長 松本 彰二 田中 耕太郎 松村 清 和氣 保夫
西村 誠治 高橋 厚朗 二宮 公博 大森 邦仁
植田 裕治

地区理事 花原 美幸(生活指導部) 高橋 文代(交通部)

副理事 吉田 朋子(生活指導部) 早田 忠子(生活指導部)
種本 明代(交通部) 小原 和子(交通部)

会計 鬼塚 俊子

運営委員 藤原 陽子 脇坂 友子 上中田 婦美子

西野 方子 原 詩子 松村 令子 今井 友子
小松 益江 横田 早苗

顧問 和氣 芳夫

監査 和氣 保夫

連絡協議会 役員 松村 清

連絡協議会事務局 横田 早苗

交通安全 母の会 小松 益江 藤原 陽子 原田 佳子

ソフトボール監督 田中 耕太郎

ポートボール監督 松本 彰二

..... 写真で見る

区画整理で生まれ変わった「田中野田」

(その1)

昭和63年から始まった田中野田の土地区画整理事業で、この地区が大きく変わってしまった。もう以前の町内の姿はどこにも残っていない。昔をなつかしく思う私は古い写真を取り出しては往時を懐古しているのであるが、編集委員の方からの要請もあり、区画整理前後の姿をスポット写真で皆さまにも見ていただくことにした。

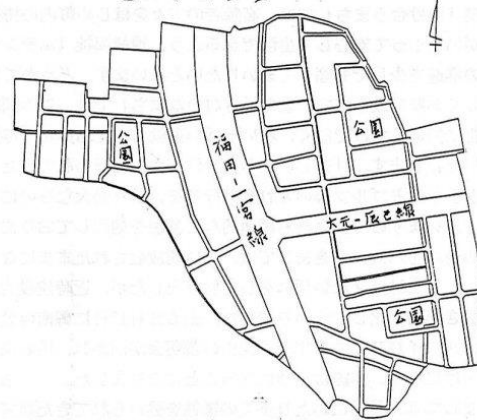
その前提として、まず最初にこの地区の区画整理の概要と、「区画整理前の田中野田」の空から見た写真を掲載することにした。

(中尾 佐之吉)

田中野田土地区画整理事業 施工前の空(白線の中)



道路等計画図



概要	事業内容
<p>当地区は、岡山駅の南西約4.5kmに位置し、全域が第2種住居専用地域に指定された25.1haの地域である。地区中央を縦断する県道当新田中山道線(幅員5.5m)を唯一の幹線道路とし、その周辺に農家集落が形成された農耕地と遊水地が7割以上を占める農村地帯である。地区の西側には御南中学校、岡山総合高等職業訓練校、岡山県総合福祉センターといった公共施設が立地しており、残る三方は今土地区画整理組合による区画整理施行地区に接しているため市街化の進展は必至の情勢であり、現に行き止まり道路に面したミニ開発も散見され、そのまま放置すれば無秩序な乱開発による不良市街地が形成されるものと予想された。</p> <p>また、地区内には国道180号線と国道2号線とを結ぶ岡山市の外環状線としての性格を有する福田一宮線(幅員50m)と中心市街地から本地区に至る大元辰巳線(幅員27m)という重点整備道路を含んでいることから市街化の進展に先行して面的整備手法による総合開発を行い、公共施設の整備改善を図ると共に住居地として快適且つ安全な新市街地の創造を図ることが緊急の課題となっていた。</p> <p>そこで、上記の都市計画道路2路線を基幹とし、生活道路としての機能を有する幅員9m~4mの区画道路を適正に配置すると共に、既存の用水路の整備改善や児童公園を新設する等によって、優良住宅地の造成を図ろうとするものである。</p>	<p>施行面積 25.1ha</p> <p>施行期間 昭和61年度~平成11年度</p> <p>総事業費 約27.0億円</p> <p>補助基本額 約4.9億円</p> <p>公費金 約15.6億円</p> <p>合算減歩率 25.54%</p> <p>都市計画道路 福田一宮線(幅員50m) 外一路線</p> <p>区画道路 幅員4~9m 延長5,267m</p> <p>公園 3ヶ所 7,544㎡</p> <p>(この記事は平成12年発行の「岡山市の区画整理」による)</p> <p>注:この記事の中心「福田一宮線」と言われている道路は、現在「国道180号岡山バイパス」と呼ばれている</p>

編集後記 本紙の冒頭で会長さんが述べておられるように、街づくりの柱の一つに「きれいなまち」があります。町内を歩いてみると、最近多くの家庭の庭先やベランダで、四季を通じて花が育てられ、街並みはきれいになり、私たちの目も楽しませてくれます。ところが一方、人通りの少ない道路では糞害が多く、とても不愉快な想いをします。「きれいなまち」づくりは、町民の心がけひとつで達成できます。みんなで心がけ努力をしましょう。